

幹部用要約

ROIにおけるJamf Proの影響

内容

次の分野において、Jamf Proが重大なROIをもたらす方法をご覧ください

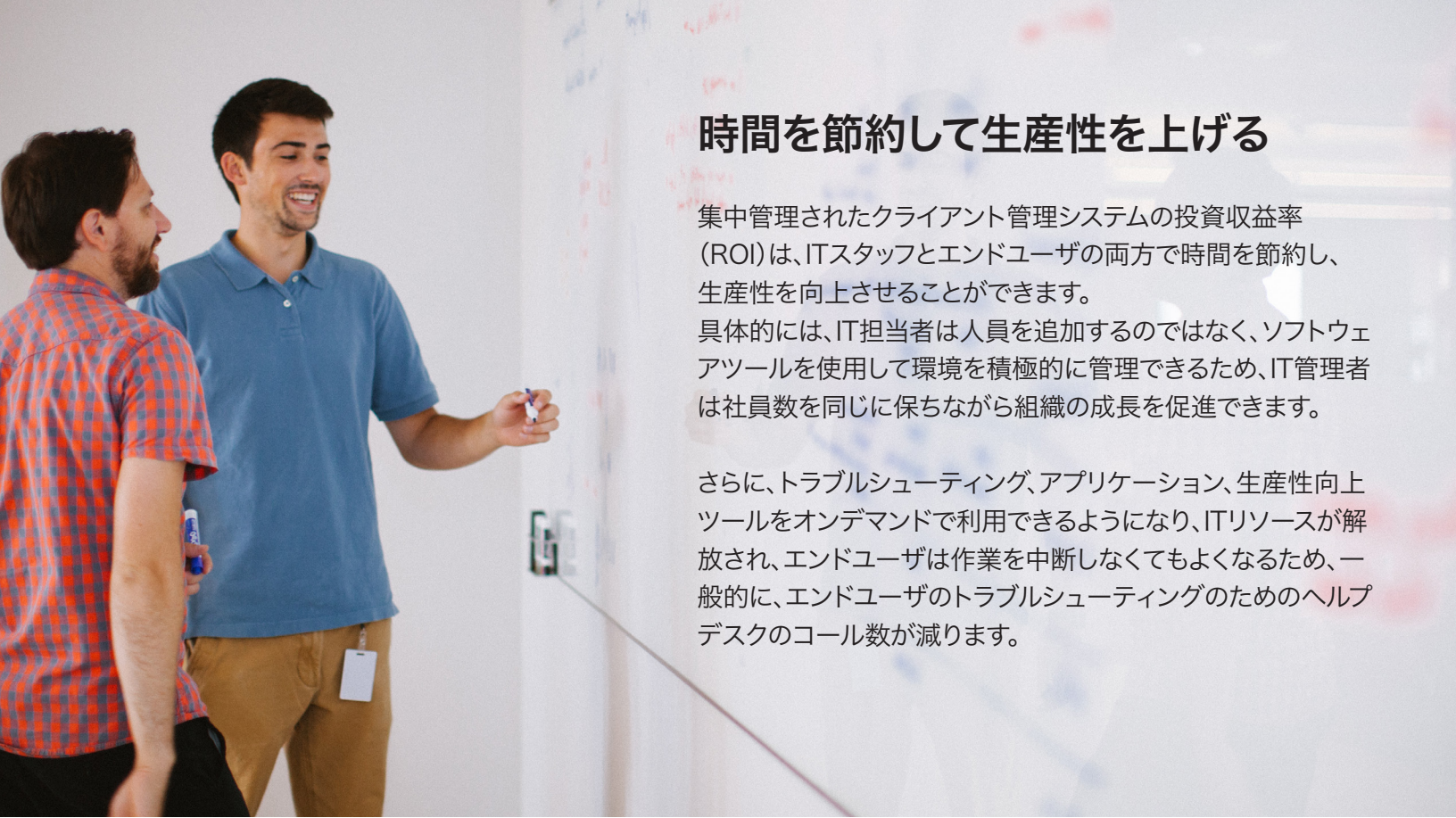
- ✔ ゼロタッチ導入
- ✔ インベントリー
- ✔ ソフトウェア配布
- ✔ パッチ管理
- ✔ セッティングおよびセキュリティ管理
- ✔ ライセンス管理
- ✔ コンプライアンスおよび使用状況の管理

もっとも短い時間でもっとも大きな利益を

今日のIT環境では、効率的な展開と操作性に目を向けるでリソースを管理することがこれまで以上に重要になっています。多くの組織では、エンドユーザワークステーションの設定、保守、管理に費やされるスタッフの時間を最小限に抑えるように設計された、使いやすいデバイス管理ソフトウェアツールを利用して、IT帯域幅を拡大できることを発見しています。

Jamf Proを導入すると、IT部門は、組織全体でAppleデバイス (Mac, iPad, iPhone, Apple TV) を簡単かつ効果的に管理できます。クライアントマシンの事前準備してハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーション、ポリシーの一貫性を保証することで、ライフサイクル全体にわたってエンドユーザーワークステーションを管理する後続のコストが削減されます。Jamf Proのできること:

- ・ ITポリシーの強制
- ・ ヘルプとユーザの生産性の向上
- ・ ITインフラストラクチャのセキュリティ保護



時間を節約して生産性を上げる

集中管理されたクライアント管理システムの投資収益率 (ROI) は、ITスタッフとエンドユーザの両方で時間を節約し、生産性を向上させることができます。

具体的には、IT担当者は人員を追加するのではなく、ソフトウェアツールを使用して環境を積極的に管理できるため、IT管理者は社員数を同じに保ちながら組織の成長を促進できます。

さらに、トラブルシューティング、アプリケーション、生産性向上ツールをオンデマンドで利用できるようになり、ITリソースが解放され、エンドユーザは作業を中断しなくてもよくなるため、一般的に、エンドユーザのトラブルシューティングのためのヘルプデスクのコール数が減ります。



Jamf Proはデバイスのデプロイメントを設定および自動化し、デバイスの手動設定にかかる時間とコストを削減します。

ゼロタッチ導入

IT組織が効率的かつ効果的に運用する上で、管理、再現性、アップグレード可能なソフトウェア構成を標準化して作成することは重要です。中心地からソフトウェア構成を標準化して管理できるようにすることで、サポートおよびエンドユーザのコストを削減し、新しいデバイスのプロビジョニングにかかる時間を大幅に短縮できます。

各組織は、サポートするワークグループに最適なデバイス構成を決定する必要があります。IT部門はJamf Proを使用することで、適切なソフトウェア、アプリケーション、設定において完璧なMac、iPad、iPhone、またはApple TVをプロビジョニングし、選択したワークフローによって各デバイスをシームレスに展開できます。実践的であれ、ユーザー操作またはゼロタッチ導入であれ、あらゆるシナリオで強力な展開ワークフローを得ることができます。

JAMF PROを使用したゼロタッチ導入の利点

最も簡単で最も効率のよいデバイス導入方法とは、Jamf Pro と Apple の Device Enrollment Program (DEP) を使用した導入にほかなりません。IT 担当者による現場サポートは不要。新しいデバイスの登録と構成を自動で行います。導入から使用まで、時間のかかるイメージングや手動設定も不要です。



Jamf Proを使用すると、ハードウェアインベントリを維持して、各ワークステーションを最大限に活用できます。

インベントリ

IT部門にとって、時間のかかるタスクの1つは、コンピューティングとモバイルアセット、およびそれらにインストールされたソフトウェアの追跡です。ソフトウェアライセンスを管理し、各マシンにインストールできるものに関するルールを実践することは、履歴の手動管理に関連しており、多くの場合、IT部門はワークステーションにアクセスして必要に応じてアプリケーションを追加することがありました。

ライフサイクルのある時点では、すべてのコンピュータが交換時期に達しますが、コンピュータの入替はそれを維持管理するよりも低コストでできます。しかしそれより前に、多くの機関が古いハードウェアを「カスケード」して、それほど要求の厳しいユーザーや役割にはならないようにしました。

-Jamf Proを使用すると、ハードウェアインベントリを維持して、各ワークステーションが寿命を迎えるまで最大限に活用できます。

JAMF PROを使用したインベントリ管理の利点

- ・すべてのハードウェアおよびソフトウェアのスケジュールされたインベントリにより、監査とコンプライアンスの正確なレポートが提供されます。
- ・Webベースのインターフェイスにより、IT担当者は正確かつ動的なインベントリレポートに素早くアクセスできます。
- ・インストールされているソフトウェアとリアルタイムライセンストラッキングのために、所有されているライセンスを比較します。
- ・ソフトウェアおよびハードウェアの在庫変更に関する自動通知により、保証、ライセンス、ディスクストレージの不足、およびその他の保守作業に関する積極的なサポートが可能になります。
- ・Appleのグローバルサービスエクステンジ(GSX)との統合により、管理対象ワークステーションの保証状況が自動的に追跡されます。



Jamf Proは標準のソフトウェアパッケージを簡単に管理、スケジュール、配布する機能を備えています。

ソフトウェアの配信および管理

ソフトウェア導入プロセスには時間とコストがかかり、エラーが発生しやすく、最終的には価値の低いタスクにITリソースを結びつけます。

Adobe Creative Suite、Final Cut Pro、Microsoft Officeなどのアプリケーションは、多くの仮想化アプリケーションと同じく多くの組織では重要なツールであり、ユーザーや組織の成功にとっても非常に重要です。ユーザーのワークステーション上のアプリケーションを最新バージョンで最新に保ち、正しく動作させることは、従業員の生産性を最大化させるうえで、非常に重要です。

また、集中管理されたソフトウェア配布ツールを使用すると、IT管理者はアプリケーションをリモートで追加および削除することができます。-Jamf Proは標準のソフトウェアパッケージおよびクライアントのワークステーションに対するイメージを簡単に管理、スケジュール、配布する機能を備えています。

通常完了するまでに数時間かかる作業を、1人で数分で完了できます。



Jamf Proを使用すると、中央サーバーからアップデートを管理することで、システムに一貫性と安全性を確保できます。

JAMF PROを使用したソフトウェア配布とアプリ管理の利点

- ・在庫とネットワークセグメントにを基準とした配布により、正確なソフトウェア展開を保証。
- ・セルフサービス配布モデルは、すべてのユーザーにとって利便性が高まり、ITオーバーヘッドを削減。
- ・Appleのボリューム購入プログラム(VPP)とApple School Managerとの統合により、App Storeから一括してライセンスを取得し、展開することができます。アプリケーションをユーザーまたはデバイスに割り当て(Apple IDは不要)、必要に応じてライセンスを再割り当てます。
- ・ポリシーエンジンにより、モバイルユーザーにソフトウェアを正確かつタイムリーに配信。

パッチ管理

適切なパッチ管理を実施しなければ、システムの一貫性や安全性を保つことはできません。

新しいコンピュータが導入されると、アプリケーションのパッチや修正プログラムを適用するといったタスクは、どの組織にとっても難しい作業となります。通常、IT部門のスタッフは、毎週新しく利用可能なソフトウェアパッチを調査し、各ワークステーションにアクセスして必要な構成を更新します。その結果、更新プログラムが適用されている間、IT部門だけでなくエンドユーザーの生産性も損なわれます。

Jamf Pro 特有のパッチ管理サービスでは、Google Chrome や Adobe Flash、Microsoft Office など非常に人気の高いアプリソフトウェアパッチを監視することにより管理を行います。また、中央サーバーから更新を管理することで、実質的な生産性の低下がなくなり、IT部門およびエンドユーザーはビジネスの実行と成長の重要な分野に集中することができます。

JAMF PROを使用したパッチ管理の利点

- ・AppleのSoftware Update Server(SUS)とのシームレスな統合により、Appleのアップデートが自動的に実行されます。
- ・自動化されたパッチ通知は、新しいサードパーティのソフトウェアパッチが入手可能になったときに電子メールで通知します。パッチスコープとポリシーは、どのシステムにパッチが必要かを素早く識別し、自動で展開します。



Jamf Proでは、セキュリティ制御とポリシーが一貫して実施され、監視が容易であることを保証します。

セッティングおよびセキュリティ管理

現在、デバイス管理の実践は、情報セキュリティの基礎です。Jamf Proを使用すると、セキュリティ制御とポリシーが一貫して実施され、監視が容易であることが保証されます。

Appleのネイティブセキュリティフレームワークとの緊密な統合により、エンドユーザーの混乱を招くことなく堅牢なセキュリティが実現します。IT管理者は設定を管理するため、構成プロファイルを構築して展開できるため、拡張可能なインベントリ収集によるセキュリティコンプライアンスを監視できます。柔軟なポリシーフレームワークを使用して、脆弱性を特定し、修正することができます。また、ソフトウェアの制限により、悪意のあるソフトウェアが閉鎖されています。

適切なセキュリティ管理により、手作業による修復作業に費やされるIT部門の労力が軽減され、コストのかかるセキュリティ侵害のリスクが最小限に抑えられます。

JAMF PROを使用したセッティングおよびセキュリティ管理の利点

- ・ 自動定期メンテナンスにより、ルーチンメンテナンスタスクが常に実行されるため、エンドユーザは生産性を継続して維持。
- ・ ユーザー設定管理により、ユーザーは面倒なヘルプデスクコールを排除し、適切な設定を確実に実施。



Jamf Proはハードウェアとソフトウェアのライセンスを自動的にインベントリするツールを提供し、オーバーヘッドを大幅に削減します。

ライセンス管理

ユーザーは、組織のポリシーに違反する可能性のあるアプリケーションをインストールしたり、ライセンス違反を引き起こして企業を危険にさらしたりすることがあります。クライアント環境に準拠した管理には、明確なポリシーを策定し、それを実施する能力を持つことが不可欠です。

Jamf Proは、ハードウェアおよびソフトウェアのライセンスを自動的にインベントリ化するツールを提供し、エンドユーザーのコンピューティング環境の実施および管理に必要なオーバーヘッドを大幅に削減します。

アプリケーションのブラックリストを適用することにより、Jamf Proは一元的なセキュリティとアプリケーション管理によってポリシーを確実に実施します。

JAMF PROを使用したライセンス管理の利点

- ・ インストールされたソフトウェアと購入したライセンスを簡単に比較して迅速なコンプライアンス追跡を実現。
- ・ ライセンス違反時に管理者に自動で通知することにより、リアルタイム応答を促進。
- ・ フォントとプラグインは、使いやすい単一のインターフェイスで追跡可能。



Jamf Proを使用すると、企業全体でのソフトウェアライセンスの使用状況の追跡と監視が容易になります。

コンプライアンスおよび使用状況の管理

Sarbanes-Oxley (SOX) などのコンプライアンス法は、ITビジネスを一変させました。

Jamf Proのような自動化ツールを使用しないSOXのコンプライアンスは非常に労働集約的であるため、組織はマシンを監査して外部監査人の証拠を提供する手段がありません。通常、ツールを持たない組織は、構成を確認するために監査スタッフをいくつかのサンプルワークステーションに送る必要があります。このプロセスは、時間がかかり高価なだけでなく、組織のビジネスプロセスを中断させる原因となります。

コンプライアンスは、政府機関によって強制される要件だけでなく、ソフトウェアライセンスにも関係します。組織は、通常、シートライセンスまたは多数の同時ユーザーのいずれかで使用するソフトウェアのライセンスを取得します。Jamf Proのようなツールがなければ、エンタープライズ全体のソフトウェアライセンスの使用状況を追跡して監視することは非常に難しく、組織は精査の対象となる可能性があります。

JAMF PROを使用したコンプライアンスおよび使用状況管理の利点

- ・ 自動定期メンテナンスにより、ルーチンメンテナンスタスクが常に実行されるため、エンドユーザは生産性を継続して維持。
- ・ ユーザー設定管理により、ユーザーは面倒なヘルプデスクコールを排除し、適切な設定を確実に実施。

結論

Jamf Proは、企業全体のリソース効率を向上させ、IT部門のスタッフと管理生産性を向上させることで、Appleデバイスの総所有コストを削減します。



www.jamf.com

© copyright 2002-2017 Jamf. All rights reserved.

Jamf ProがいかにしてAppleを用いて組織の成功を支援するかについて詳しくは、jamf.com/ja